

令和四年度

入学式式辞

式辞の前に一言申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者の皆様につきましても一名の出席とさせていただきます。ご出席できなかった保護者の皆様には、誠に申し訳ない思いです。何卒ご理解のほどよろしく願いいたします。

式辞

大地に春の躍動を感じる今日の良き日に、福岡県立大川樟風高等学校第二十回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。心から皆さんを歓迎いたします。

また、保護者の皆様におかれましてもお子様の晴れ姿にお喜びのことと思えます。心からお祝申し上げます。

本日は、ご来賓として、福岡県議会議員で同窓会副会長 梶島徳博（かばしま のりひろ）様、PTA 会長 古賀 麻宰士（こが まさし）様、同窓会会長 土井彌一郎（どい やいちろう）様、大川市長 倉重良一（くらしげ りょういち）様、大川市教育委員会教育長 内藤妙子（ないとう たえこ）様、振興会会長 内藤 栄治（ないとう えいじ）様、大樟会会長 田中 廣大（たなか ひろお）様のご臨席を賜りました。

新入生の高校生活のスタートをとにもお祝いいただきますことを、高い所からではありますが、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本校は地域の方々の熱い思いのもと大川市に一つだけある高等学校として創立されました。「志学、創造、貢献」の校訓もと「十人十色の未来と笑顔」を合言葉に、すべての生徒に寄り添い大切に育てていく決意で取り組み、地域が誇れる高校として「地域を愛し、地域に愛される学校」づくりを積極的に進めています。

本年度本校は、創立二十周年を迎えます。大川高等学校と大川工業高等学校の伝統と文化を受け継いでいます。十一月五日に創立記念式典を挙行し、記念講演会や記念誌の発行、記念事業を行う予定です。

皆さんはこの節目の年の入学生であり、皆さんの若い力で、大川樟風高等学校の新たな素晴らしい歴史の一ページを刻んでください。

現在、世界は新型コロナウイルス感染によって経験したことのない混乱の真ただ中にあります。そのような中、新入生の皆さんには、先が見えず変化の激しい時代を生き抜く強さと、思いやりを持ったやさしさを兼ね備えた人材に育ててほしいと思えます。

高等学校の目的は端的に言うと、「学ぶ」ことにあります。学ぶことは、その成果として希望する進路に進むことができ、将来がひらけるといふ直接的な成果だけでなく、わからなかったものがわかるようになる、できなかったことができるようになることであり、それは、人間の大きな喜びです。そのことが自信となり人間としての尊厳を生み出します。

今年度入学する皆さんから新しい教育課程が完全実施となります。ICT 機器の活用能力や広く深く考える力を身につけること、他者とコミュニケーションを取りながら課題解決に取り組むこと等が求められます。高等学校での生活は、皆さんの長い人生の中で、極めて重要な意味を持つこととなります。本日から始まる本校での三年間または、四年間を有意義なものとするために一日一日を大切に過ごしてほしいと思えます。最後になりましたが、保護者の皆様一言ご挨拶申し上げます。家庭教育と学校教育は生徒を育てるうえで車の両輪であります。全日制、定時制の生徒一人ひとりを大切に、誠心誠意、全力をあげて教育活動に取り組む所存です。つきましては、本校の教育活動に対しまして、保護者の皆様のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和四年四月七日

福岡県立大川樟風高等学校
校長 西嶋 賢児